

解答例・指導のポイント 調べ学習では、本とインターネットのどちらを中心に使うべきか？

解答例 1

資料1を見ると、インターネットは情報が新しく、さがす速さもすぐれていますが、まちがいはあるとわかります。一方、本は情報の正しさが確かめられています。資料2からは、6年生の半分以上がインターネットを主に使っていることが読み取れます。

わたしは、アの本を中心に使う案がよいと考えます。なぜなら、資料1のように、本はだれが書いたかがはっきりし、内容が確かめられているからです。発表では、正しい情報を伝えることがいちばん大切だと思うので、本を中心にすべきだと考えます。

解答例 2

資料2を見ると、すでに6年生の半分以上が、調べ学習でインターネットを主に使っていることがわかります。資料1でも、インターネットは情報が新しく、すぐに見つけられるという強みがあります。

わたしは、イのインターネットを中心に使う案がよいと考えます。地域の新しい出来事などは、本にはのっていないことも多いからです。ただし、資料1にあるまちがいをふせぐため、二つ以上のサイトで見くらべて確かめるようにすれば、安心して使えると思います。

指導のポイント

- ・ 第一段落は資料の事実。資料1（◎△の比かく）と資料2（割合）を正しく読み取れているかを見る。
- ・ 第二段落は立場＋理由。ア＝正確さ、イ＝新しさ・速さ。イを選んだ場合、資料1の『まちがい』への手立てまで書けると深い。
- ・ 形式（八～十行・二段落・◆）を内容より先に確認する。



School Stock | 学校現場で使える無料の教材・素材集

自分が現場で使うことを念頭においた教材を作成・共有しています。登録不要・無料でお使いいただけますが、先生方の良心を信じて配布しています。最新の教材や、ほかの教科のプリントは、noteマガジンからご覧いただけます。

https://note.com/tozaki_edu/m/maab6a89240fa

作成者

外崎 顯博（とざき あきひろ） 福岡県出身。2017年より福岡県の公立小学校教員として勤務。校内のICTコーディネーターとして授業でのICT活用を推進。Google認定教育者・GEG Chikuho（Google Educator Group）リーダー。教材の開発・監修、教員向けの生成AI・教育DX研修に取り組む。

連絡先：EdtechChikuho@gmail.com / X：@Tozaki_edu / note：
note.com/tozaki_edu / Facebook：facebook.com/profile.php?
id=100013297578450



公式LINE

【ご利用にあたって】本プリントは、学校・家庭・学習支援の場での教育目的に限り、自由に印刷・配布してお使いいただけます。無断での販売、Webサイト等への転載・再配布、自作教材としての公開はご遠慮ください。文章・図表・データは School Stock のオリジナルです。